



高教第 444 号
平成 30 年 8 月 7 日

酒田市長 殿

山形県教育委員会教育長
(公 印 省 略)

庄内地区への中高一貫教育校の設置に係る意向調査について（依頼）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、本県の教育振興につきましては、御理解と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、山形県教育委員会では、平成 21 年 6 月に策定した山形県中高一貫教育校設置構想に基づき、内陸地区のモデル校として、平成 28 年 4 月に東根市に東桜学館中学校・高等学校を開校いたしました。

庄内地区へのモデル校の設置については、平成 29 年 10 月 5 日に公表した田川地区の県立高校再編整備計画〈第 2 次計画（骨子案）〉の中で、庄内各自治体の中学校卒業生数の将来の見通しや、統廃合を含めた高校再編整備の進捗状況、既存校舎の活用などを総合的に考慮し、鶴岡南高等学校と鶴岡北高等学校を統合した上で、県立中学校を新設し、併設型中高一貫教育校とする案をお示ししております。

この案については、地域説明会やパブリック・コメント（意見募集）においても、賛否両論、数多くの御意見が寄せられ、また、庄内開発協議会からは、庄内地区全体の意見を聴いた上で進めて欲しいとの要望もいただいております。

つきましては、この状況を踏まえ、下記のとおり、庄内地区における中高一貫教育校の設置について、各自治体の意向を把握し、今後の調整の際に参考としたいと考えておりますので、よろしく御協力をお願いいたします。

記

1 意向調査の方法

別紙、調査票により、貴自治体の意向について御回答ください。

2 回答の期限

平成 30 年 12 月 31 日（月）まで

3 提出先

高校教育課高校改革推進室

4 結果の取扱い

各自治体の意向を取りまとめた後、結果については公表し、今後の調整の参考といたします。

5 参考資料

- (1) 山形県の中高一貫教育の在り方について 報告書、同概要版（平成 20 年 1 月）
- (2) 山形県中高一貫教育校設置構想、同概要版（平成 21 年 6 月）
- (3) 田川地区の県立高校再編整備計画（第 2 次計画案）、同骨子案（平成 29 年 10 月）
- (4) 鶴岡市内の県立高校再編整備に係る関係者懇談会について

<問合せ>

山形県教育庁高校教育課高校改革推進室
室長補佐 伊藤久敏
電話 023-630-2132 Fax 023-630-2774
電子メール itohis@pref.yamagata.jp

庄内地区への中高一貫教育校の設置に係る意向調査（調査票）

（ ）市・町

問1 庄内地区に中高一貫教育校を設置すべきですか。

- 1 設置すべきである。 2 どちらでもよい。 3 設置すべきでない。

その理由

【問1で1又は2と回答した自治体のみ回答】

問2 現在の県教育委員会の設置案についてどう思われますか。

- 1 概ね賛成 2 条件付き賛成 3 反対

2の場合は、条件の内容を記入願います。

【問1で1又は2と回答した自治体のみ回答】

問3 設置場所も含めて対案はありますか。

- 1 ある 2 ない

1の場合は、具体的な構想の内容を記載した文書を添付してください。（様式自由）